



## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務兼企画IR担当

(氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	28,698	5.5	1,139	31.9	1,141	33.8	742	45.6
27年9月期第3四半期	27,198	5.7	863	10.0	852	11.0	509	4.6

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 707百万円 (34.3%) 27年9月期第3四半期 526百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	129.93	—
27年9月期第3四半期	89.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第3四半期	16,882	9,349	55.4	1,636.37
27年9月期	16,679	8,727	52.3	1,527.51

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 9,349百万円 27年9月期 8,727百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	38,100	4.1	1,322	14.8	1,309	14.8	815	14.1

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方法の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期3Q	5,719,320 株	27年9月期	5,719,320 株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	5,995 株	27年9月期	5,995 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期3Q	5,713,325 株	27年9月期3Q	5,713,374 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の底堅さが見られたものの、円高の進行や新興国経済の減速による輸出の伸び悩みと設備投資の抑制、可処分所得の減少による個人消費の低迷などにより、景気は総じて足踏み状態で推移いたしました。

当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻くスーパーマーケット業界は、原材料価格の高騰を受けた商品価格の値上げや業種・業態を超えた価格競争の激化に加え、消費者の生活防衛意識と節約志向が一段と強まるなど、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの強い信頼と高い支持をいただけるよう、新鮮かつ安全で安心な商品の提供に努めるとともに、お客様の要望にお応えする付加価値の高い商品の提案、値ごろ感を重視した価格政策、地域の特性に合わせた品揃えの強化、従業員教育の推進によるサービスレベルの向上などにより、店舗における営業力の強化に取り組んでおります。

株式会社イトーヨーカ堂との業務提携につきましては、情報の共有化を積極的に図るとともに、共同による商品作りと売り場作り、合同の販売促進企画の実施などを進め、競合各社との差別化と競争力強化に努めております。

また、販売本部及び商品本部の機能促進を図り、売上総利益率の改善による収益力の向上と商品開発による商品力の強化、福利厚生の実施と人材育成のための教育制度の実施などに取り組んでまいりました。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは126億41百万円（前年同期比2.6%増）、旭川ブロックは84億40百万円（前年同期比3.6%増）、札幌ブロックは76億11百万円（前年同期比13.3%増）となりました。また、既存店売上高につきましては、個人消費の回復力が弱く、お客様の立場に立った品揃えと環境変化に即した売場提案に努め、前年同期比2.7%増と好調に推移いたしました。

売上総利益率につきましては、生鮮食品を中心としたロスの削減と加工食品を中心とした在庫管理の徹底などにより、前年同期に比べ0.3ポイント改善し24.2%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、作業効率の改善と消費電力量の抑制、予算対実績の詳細な分析など効率的な事業運営を推し進め、売上高に対する比率は21.7%となり、前年同期に比べ0.5ポイント改善いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は286億98百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は11億39百万円（前年同期比31.9%増）、経常利益は11億41百万円（前年同期比33.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億42百万円（前年同期比45.6%増）となり、各数値はいずれも過去最高となりました。また、1株当たり四半期純利益は129円93銭（前年同期89円21銭）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加の168億82百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加8億8百万円及び売掛金の増加73百万円等に対し、その他の減少2億20百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億80百万円増加の40億36百万円となりました。固定資産においては、建物の減少2億9百万円、投資その他の資産のその他の減少1億12百万円及び有形固定資産のその他の減少1億6百万円等により、前連結会計年度末に比べ4億77百万円減少の128億46百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億18百万円減少の75億33百万円となりました。流動負債においては、主にその他の増加1億65百万円及び買掛金の増加1億2百万円等に対し、未払法人税等の減少52百万円及び1年内返済予定の長期借入金の減少46百万円により、前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加の48億2百万円となりました。固定負債においては、退職給付に係る負債の増加12百万円等に対し、長期借入金の減少4億13百万円、その他の減少1億55百万円及び役員退職慰労引当金の減少60百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億16百万円減少の27億31百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億21百万円増加の93億49百万円となりました。これは主に、利益剰余金6億56百万円の増加によるものです。この結果、自己資本比率は55.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月4日発表の業績予想から修正しております。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	平成28年9月期	
	金額	前期比
売上高	38,100	4.1%増
営業利益	1,322	14.8%増
経常利益	1,309	14.8%増
親会社株主に帰属する当期純利益	815	14.1%増

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,459,809	2,268,193
売掛金	350,211	424,095
商品及び製品	990,111	1,009,531
原材料及び貯蔵品	972	590
その他	556,226	335,463
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	3,355,831	4,036,375
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,043,191	3,833,528
土地	5,669,137	5,669,137
その他（純額）	1,123,006	1,016,255
有形固定資産合計	10,835,335	10,518,922
無形固定資産		
その他	14,490	14,490
無形固定資産合計	14,490	14,490
投資その他の資産		
敷金及び保証金	873,544	824,694
その他	1,600,244	1,488,228
投資その他の資産合計	2,473,788	2,312,922
固定資産合計	13,323,613	12,846,335
資産合計	16,679,445	16,882,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,156,485	2,259,377
1年内返済予定の長期借入金	608,864	562,294
未払法人税等	252,927	200,747
賞与引当金	137,536	166,224
その他	1,448,579	1,613,799
流動負債合計	4,604,392	4,802,442
固定負債		
長期借入金	1,368,513	954,635
役員退職慰労引当金	197,192	136,684
退職給付に係る負債	538,309	551,192
資産除去債務	15,978	16,132
その他	1,227,893	1,072,534
固定負債合計	3,347,887	2,731,179
負債合計	7,952,279	7,533,621

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	5,498,963	6,155,587
自己株式	△2,926	△2,926
株主資本合計	8,701,389	9,358,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,775	△8,925
その他の包括利益累計額合計	25,775	△8,925
純資産合計	8,727,165	9,349,088
負債純資産合計	16,679,445	16,882,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	27,198,354	28,698,976
売上原価	20,701,576	21,744,300
売上総利益	6,496,778	6,954,675
営業収入	402,431	408,661
営業総利益	6,899,210	7,363,337
販売費及び一般管理費	6,035,242	6,223,375
営業利益	863,967	1,139,961
営業外収益		
受取利息	9,635	9,218
受取配当金	2,099	3,280
その他	5,066	7,598
営業外収益合計	16,801	20,097
営業外費用		
支払利息	27,416	17,990
その他	813	954
営業外費用合計	28,230	18,944
経常利益	852,538	1,141,114
特別損失		
固定資産除却損	26,026	—
減損損失	4,845	—
役員退職慰労金	—	29,440
特別損失合計	30,872	29,440
税金等調整前四半期純利益	821,666	1,111,674
法人税、住民税及び事業税	307,287	371,867
法人税等調整額	4,696	△2,517
法人税等合計	311,983	369,350
四半期純利益	509,682	742,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	509,682	742,324



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	509,682	742,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,177	△34,701
その他の包括利益合計	17,177	△34,701
四半期包括利益	526,860	707,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,860	707,622
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成26年10月1日 至平成27年6月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成27年10月1日 至平成28年6月30日）

当社グループ（当社及び連結子会社）は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。